

NO 2	三井住友銀行／九段プロジェクト	株式会社三井住友銀行
------	-----------------	------------

**提案概要**  
 九段下の立地特性を活かした金融機関の本部ビルの新築プロジェクトで、新たな情報発信となるフラッグシップビル。自然の光・風・緑を取込む外皮計画や大幅な省エネを実現する空調設備によりZEB Readyを目指す。また、環境配慮型構造材・冷媒の採用によりエンボディドカーボン削減し、WLCの総合的な削減を目指す。

<b>事業概要</b>	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅・一般部門)
	建物名称	三井住友銀行／九段プロジェクト	所在地	東京都千代田区
	用途	事務所 集会所	延床面積	40,986 m <sup>2</sup>
	設計者	株式会社日建設計	施工者	鹿島建設株式会社(予定)、空調設備サブコン(未定)
	事業期間	2024年度～2031年度		

**概評**  
 地域に開かれた環境配慮ビルの提案である。建物やファサード形状の工夫により光・風・緑を最適な状態で取り入れていることやサステナブルフロアという新しい建築計画の提案は、先導的として評価した。環境配慮型建材や冷媒を採用することでWLCの低減も図っている点も評価した。脱炭素やウェルネス効果など各種提案した省CO2技術について事後検証を行い、情報発信することを期待する。

**参考図**



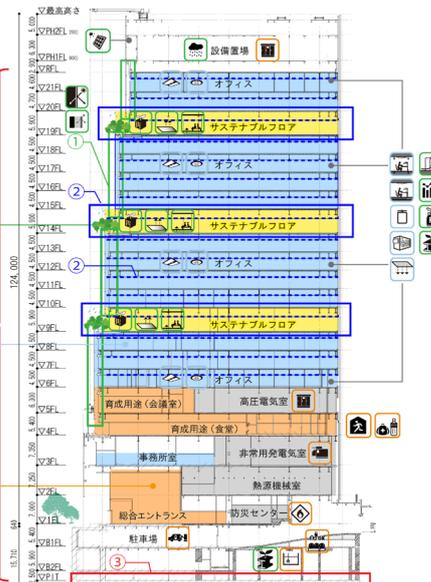

**外観**      ステップ・ダブルスキンファサードの鳥瞰バース

**■環境配慮断面**

本建物に導入し、3つのインターフェース構築を実現する多様な技術を下図に示す。これらの各要素技術を束ね相乗効果を生み出すものが、次の①～③のコアデザインである。

- ①自然の光・風・緑をつなぐ開閉可変型のステップ・ダブルスキン
- ②ワークプレイスの快適性と省エネを両立し向上する放射冷暖房システム  
 + エネルギーのカスケード利用を受容し、自然を感じるウェルネスなサステナブルフロア
- ③環境配慮型の構造材・冷媒採用によるエンボディドカーボン削減

<b>Green Interface</b> グリーンインターフェース	電動ブラインドによる自然採光* 緑側のテラス テラス保水性舗装床材 / 蒸発冷却 テラス緑化 雨水・集水利用 太陽光発電設備	ダブルスキン* 縦ルーバーによる日射遮蔽* 自然換気* エネルギーの見える化 環境配慮型構造材** 環境配慮型冷媒**
<b>Work-Place Interface</b> ワークプレイスインターフェース	明るさ感に配慮した照明計画 画像センサー 全熱交換機組込外調機* 天井放射冷暖房*	One Way 換気* フリーアクセスフロア 高効率設備機器*
<b>Community Interface</b> コミュニティインタフェース	帰宅困難者避難受入れエリアの整備 非常用発電機 受変電設備 電気自動車充電設備	防災備蓄倉庫の拡充 防災センター 給排水ポンプの電源バックアップ 緊急排水槽・雑用水槽



\*は課題2、\*\*は課題6に対する補助対象項目を示す。